

令和8年度

学校自己評価

中津市立 三保小学校

(8月)

- 1 学校の教育目標
- 自問して、みんな活躍する三保っ子
- 2 育成を目指す資質・能力
- 人間関係形成能力
- 3 重点目標・達成指標、重点的取組等

評価判断基準
A ……達成率90～100%
B ……達成率70～ 89%
C ……達成率60～ 69%
D ……達成率60%未満

生きて働く知識・技能の
習得

思考力・判断力・表現力
の育成

学びに向かう力、人間性等
の涵養

重点目標	達成指標		重点的取組	取組指標	評価	成果と課題、及び次期（次年度）に向けての取組
夢や目標を持って、自ら学び続ける力の育成	①中津市標準学力調査で C層の児童の割合 ※国語20%以内 ※算数20%以内 ②単元テスト 「知識・技能」80点以上の児童を80%	学校	○基礎基本的な学習内容の定着	○授業者は、単元の終末にはプレテストや練習問題を行い、学習内容の定着を図る。 ○授業者は、単元ごとのテストのやり直しを徹底するとともに、定着度が低いと思われる問題については、類似問題に取り組ませる。	B	○単元テスト知識技能80点以上の児童を80%以上にする。 国語87.2% 算数100% 達成率93.6% ○単元テスト達成率の学年差が大きい。
		家庭	○学習習慣・生活習慣の確立	○保護者は勉強時間・就寝時刻が守れるように我が子に声かけする。	A	○勉強時間の声掛け89%・就寝時刻の声掛け96%が肯定的回答。
		地域	○学校への支援活動の推進	○学校の教育活動に、ゲストティーチャーとして学習支援を行う。	A	○1学期は支援活動自体が少ないので2学期以降の取組を参照する。
自ら考え、進んで行動することのできる力の育成	③授業中、友だちに自分の考えを伝えることができた」と答える児童の割合を85%以上にする ④単元テスト 「思考力・表現力・判断力」80点以上の児童を65%	学校	○算数における三保スタイルの授業実践の確実な実施	○児童は算数授業のスタート時に、単元プランをもとに自らめあての確認ができるようにする。 ○授業者は、目的を明確にした【ペア・グループ学習】【ぶらぶらタイム】など全児童が声を出す場面を、1週間に3回以上設定する。	A	○「友だちと自分の考えを比べた」99% 達成率116% ○単元テスト思判表80点以上の児童を65%以上にする。 国語122% 算数87% 達成率105%
		家庭	○家庭内対話の充実	○保護者は毎日、今日の出来事を子どもに聞く	A	○【今日の出来事を子どもに聞く」94%ができた」と回答。 ○学校通信・学級通信での啓発活動を今後も取り組んでいく
		地域	○あいさつの推進	○OGT等は交流やサポートで出会う児童に先手挨拶をする。	A	○地域の方々に「先手挨拶」に取り組んでもらっている。 ○今後も継続して取り組んでいただく。
自他を大切に、誰とでも協働できる力の育成	⑤「友だちに対して、『ありがとう』や『ごめんなさい』の言葉を自分から素直に言うことができた」と答える児童の割合を90%以上にする。 ⑥「みんなと力を合わせて取り組めた」と答える児童の割合を90%以上にする。	学校	○学習や生活の中に、自分や他人を大切にする活動を確立する。	○担任は月に一度、学級活動の中で、自問ノートの内容を扱った指導を、クラスの実態に合わせた形で行う。 ○担任等は、月に一度言葉づかい等のめあてを設定し、子どもたちに振り返らせる。	B	○【素直に言うことができた」 達成率107% ○「力を合わせた」 達成率103% ○「自問清掃」「自問ノート」の取組を今後も継続する。 ○「自問ノート」に書く内容に工夫が必要である。
		家庭	○子どものお手本となる言葉遣いの実践	○保護者は「ありがとう」の声かけをする。	A	○「ありがとう」の声かけ97%ができた」と回答。 ○引き続き、学級懇談会や学校通信、学級通信等で繰り返し学校での取り組みを説明し、啓発活動を進めて行く。
		地域	○児童の頑張りを認め、ほめる	○OGT等はあいさつに加え、一言プラスの声かけをする。	A	○地域への働きかけを積極的に行い、協働して取り組めると良い。
働き方改革の推進	⑦ストレスチェックの健康リスク（量・コントロール）の値を100以下	学校	○19：00施錠の徹底	○職員は週に3回以上、18：45までに学校を出る。	B	○時間外勤務月45時間以内職員の割合を85%以上平均79%（4月・5月・6月・7月の平均） ○18：30の声かけの徹底を行い、18：45前の退庁の積み重ねで月45時間以内を目指す。 ○校務DX（AIドリル・アプリ等）に取り組み、子どもと向き合う時間の持続的な確保
			○業務コントロール感の向上	○職場アンケートで業務の進め方を自分で調整できていると回答する割合80パーセント以上。		
		家庭 地域	○子ども相談等の時間内の対応	○緊急の場合を除いて、学校への連絡や折り返しの電話は18時までにする	B B	